

学びの実感

ことばのちからは 生きる力

重なりを目をつけて

◇今回の授業に向けて、隣のクラスを借りて事前授業に挑戦しました。

大泉先生は…

「昨年度までの流れを生かし、効果的なアナウンスのあり方について考えたい。」

「子供の言葉を大切にしたい」

「友達の発表をきちんと聞く耳を持つようにしたい」

「教師自身の言葉の吟味が必要である」

ということを意識しながら、どうしたら良いか自分なりに考えたり、学年部にアイディアをもらったりしながら授業の流れを作っていました。

すべての学年に共通する悩み(課題)ではないでしょうか。「授業がどうあるべきか」という問題意識を持って取り組みを続けている大泉先生です。



◆事前授業(検討会)から◆

【事前検討会】

◇今回の授業にあたって以下のような思い等があったそうです。

- ①教科書を使わず、ワークシートを使って学習を進める。
- ②考える手立てを子供がしっかりと理解できれば、ワークシートにその考えを記入できるはず。記号や色、矢印を使って表現させたい。
- ③全体発表の時には、教師の指名で少なくとも2タイプの考え方を入りたい。
- ④まとめは子供から出た言葉を使ってまとめたい。
- ⑤子供の実態に応じて適応問題、練習問題を用意しておく。
- ⑥子供の発表の仕方を教師のフォローの仕方に気をつけたい。

事前授業に取り組んだからこそ見えてくる目標(課題)だったのかもしれない。学年部で「どうしたらいいか」「どうしていくのか」一つ一つ相談しながら取り組んだ授業でした。

【見てほしいところ】

○全体発表の際に、子供に発表させながら、教師がどの程度フォローすべきか。

- ・少ないと考えが子供たち伝わらないかも…多すぎると子供の言葉ではなくなってしまうそう…



【事後検討会】

自評…

- ・児童の考えを全体で発表する際に、事前授業の経験を生かして「子供の言葉を大切に」しながら考え方をまとめることができた。
- ・聞く側の「聴き方」、友達の発表を聞きながら「メモの取り方」について指導が不十分であったように思う。なかでも、どのようにメモをさせていくのか（自分で考えて書くor教師が簡単にまとめたものを書かせる）や、その際の効果的な教師の声掛けのあり方が難しかった。
- ・一人一人は十分に考える時間はあったが、その考えを全体に広げることが出来たかという疑問が残る。

参観者から…

- ・板書の構成が良かったと思う。
- ・子供の視覚刺激を考えると色がついていたので良かった。
- ・黒板になる図形にABCの記号を示すと、発表形式が統一されたかもしれない。
- ・書く力と説明する力がとても身についていた。
- ・教師のフォローがとても良かった。
- ・課題提示の際に図がない状態からスタートすることにより、後から図を使って説明するときには、一段と図の便利さが強調できたかもしれません。
- ・図に色をつけたのが良かったと思います。それと連動して、式にも同じ色がつくとわかりやすかったかもしれません。
- ・同じ考えでも、違う言葉を使って説明していたのがすごい。
- ・類似問題は、難しかったようである。便利な図がなかったからできなかったのかも。



【課題のリレー】

(有効・・・○ 課題・・・●)

○子供の言葉を拾うことが出来た。

○図を使って考えることの良さを実感させることが出来た。

●子供の考えを発表させる際に

①教師が黒板にまとめる

②何かに書かせておいて発表させる

2つで迷ってしまった。どちらが効果的なのか学年に応じて考えて行かなければならないと感じた。

【つなぐ授業】

- | | | |
|----------|----------|----|
| ・三塚麻子先生 | 拡大図と縮図 | 8月 |
| ・渡邊昌子先生 | どちらがおおい | 9月 |
| ・三塚啓子先生 | 3つの数の計算 | 9月 |
| ・斎藤理枝子先生 | わり算の筆算 | 9月 |
| ・三浦友子先生 | 違いに目をつけて | 9月 |
| ・庄子文恵先生 | 後日連絡 | 9月 |

見ていない授業とは言え乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m